

●公益事業（公益目的事業会計）

I 次代を担う青少年の健全な育成に資する事業（公1）

1. イオン チアーズクラブ

(1) 地域での活動

- ① 標 題：イオンチアーズクラブ通常活動
- ② 活動概要：各地域の小中学生が、イオングループ国内420の事業店舗を主な拠点とする「チアーズクラブ」に入会し、「環境・社会」をテーマに体験学習を行うことを通して、学ぶことの楽しさや社会のルールやマナーに沿った行動を身に着ける場とする。また、子どもたちが、各地域の大人たちと一緒に活動に取り組み、地域を元気づける存在になることを目指す。

活動を適宜計画の上、実施

- ③ 実施期間：2023年4月1日(土)から2024年3月31日(日)
- ④ 参加対象：日本国在住の小学1年生から中学3年生までの児童・生徒
- ⑤ 重点取組：稼働クラブ数の増加 全クラブ活動へ
1クラブあたりの年間活動回数の増加(全クラブ年4回以上)
全国統一企画 首里城支援ポスターコンクールの実施(7~8月に実施予定)

(2) 全国大会

- ① 標 題：全国大会
- ② 活動概要：全国9エリアに分かれて、壁新聞審査会を実施し、入賞チームが参加
- ③ 実施期間：2023年7~8月
＜9地区＞北海道、東北、北関東（埼玉、茨城、栃木、群馬）、南関東（東京、神奈川、千葉、山梨）、北陸信越、東海、近畿、中四国、九州・沖縄
- ④ 重点取組：各エリアの入賞チームを開催地に集め、自然体験活動を通じて、メンバーとコーディネーター同士が情報交換や交流を図る。

2. 中学生作文コンクール

- ① 標 題：イオン中学生作文コンクール
- ② 活動概要：全国の中学生を対象に「環境」をテーマとした作文を募る。
事前のオンライン講義に基づき、応募者が自主学習を行い、その結果が文章に反映出来るようにする。各都道府県の教育委員会、こどもエコクラブ、イオン チアーズクラブ等を通じて全国の中学生へ告知し、表彰式・学習ツアーを開催。
各賞：金 賞 学習ツアーに招待・図書カード贈呈3万円（10名）
銀 賞 図書カード贈呈1万円（10名）
後援：文部科学省、農林水産省（*いずれも予定）
- ③ 実施期間：2023年6月~11月（*作文募集は、7月下旬~8月下旬）
- ④ 参加対象：日本全国各地に在住の中学生
- ⑤ 重点取組：公的機関の取り組みとの連動を図り、当財団の活動内容の充実と対外発信力の強化につなげることで、認知度の向上を図る。

2023年度事業計画書

3. イオン エコワングランプリ

- ① 標 題：イオン エコワングランプリ
- ② 活動概要：全国の高校又は高校生が取り組んでいる環境保全活動を募集し顕彰。応募内容を事例集として刊行、全国の高校に配布し、活用を呼び掛けることで活動の普及を目指す
1) 「普及部門」・「研究部門」の2部門で募集を行う。
2) SNSの活性化を推進し、高校生同士の情報交換、好事例の共有等が頻繁に行われるような環境を築き、学校単位での環境保全活動の定着と拡大を目指す。
共催：毎日新聞社、(公財)イオン環境財団
後援：内閣府、文部科学省、環境省
協力：全国高等学校長協会、(公財)産業教育振興中央会
特定非営利活動法人 持続可能な開発のための教育推進会議 (ESD-J)
- ③ 実施期間：2023年4月～9月末 (予定) 募集
2023年 10月中旬 (予定) 1次選考
2023年 11月 (予定) 地区予選大会
2023年 12月 (予定) 表彰式・優秀事例発表
- ④ 参加対象：日本国内の全国の高等学校または高校生
- ⑤ 重点取組：1) 地区予選大会を開催。
歴代入賞校による活動内容の紹介や相互の情報交換を行うことで、各校の活動レベル向上と新規応募の促進を図る。
2) 過去のエコワングランプリ(*内閣総理大臣賞)受賞校が、自らの研究・開発の成果を生かして、イオン環境財団の活動参加校の環境保全活動を支援する取り組みを開始。
3) 過去、及び前年のグランプリ受賞校の活動内容の紹介を本年度の募集に先立って行い、この取り組みの理解を深めるとともに、ホームページを活用した新たな募集を実施予定。
4) 過年度受賞校の在校生及び卒業生の活動状況を調査しSNSにて紹介。

4. 学校建設支援

- ① 標 題：ミャンマー学校建設支援事業
 - ② 活動概要：2012年から2021年までの9年間で66校の建設支援を行ってきたが、未だに同国の地方各州には支援が及んでいない状況にある。
東部カレン州において、(公財)日本ユニセフ協会と連携し、学校建設支援を行うとともに、本事業で2012年から2015年に建設支援を行った同州コーカレイ村の小学校について、教員研修の支援を実施する計画。
これに先立ち、以下の内容で全国募金を実施。
 - ③ 実施期間：2023年9月17日(日)～10月16日(月)
 - ④ 参加対象：【募金による支援対象】・東部カレン州に新たに校舎を建設する小学校
・2012年から2015年に建設支援を行った同州コーカレイ村の小学校(*教員研修支援)
- 【募金活動次第】
- 募金活動名 : ミャンマー学校建設支援募金
募金受付方法 : ホームページ、及び、募金実施協力事業所での募金受付

2023年度事業計画書

贈呈先 : 公益財団法人 日本ユニセフ協会

《募金目論見書》

募金目的 : ミャンマーにおける学校建設支援

募集総額 : 12,000千円

募集期間 : 2023年9月17日(日)～10月16日(月)

募集理由 : 老朽化した校舎での勉強を余儀なくされているミャンマーの子どもたちの学習環境の改善を支援する。

資金使途 : 全額学校建設資金、及び教員研修に充当

その他 : 募集総額に当財団が一定額を上乗せ加算し、学校建設支援及び教員研修に充当。

- ⑤ 重点取組 : 芝・増上寺で開催されるミャンマー祭り、あるいは在日ミャンマー大使館で、贈呈式を実施。(予定)

*本事業については、ミャンマー国内情勢によっては、変更の可能性有。

5. イオン・ユニセフ セーフウォーターキャンペーン

- ① 標 題 : イオン・ユニセフ セーフウォーターキャンペーン

- ② 活動概要 : カンボジア、ミャンマーにおいて、汚れた水や衛生環境は、子どもたちの命に関わる重大な問題の一つである。また、学校建設支援を進めてきた地域では、小学校高学年(4年、5年)になると、学校での欠席率が上昇。その理由は水汲みを中心とした家事手伝いであり、しかもその多くは、不衛生な水であり、健康・衛生面からも改善が急務。本キャンペーンを通じ、そうした子どもたちが暮らす村や町に、給水施設を設置していくことで、子どもたちを教育面、健康面から支援する。

- ③ 実施期間 : 2023年4月10日(月)～2023年5月14日(日)

- ④ 対象地域 : カンボジア : ラタナキリ州、クラチエ州
ミャンマー : カレン州

以下の内容で全国募金を実施。

募金活動名 : イオン・ユニセフ セーフウォーターキャンペーン

募金受付方法 : ホームページ、募金実施協力事業所での募金受付

贈呈先 : 公益財団法人 日本ユニセフ協会

《募金目論見書》

募金目的 : カンボジア、ミャンマーにおける給水施設支援

募集総額 : 19,000千円

- ⑤ 募集期間 : 2023年4月10日(土)～2023年5月14日(日)

募集理由 : 水汲みを中心とした家事手伝いに追われて学校を欠席しがちな子ども達が暮らす村や町に、給水施設を設置することで、子どもたちを教育面、健康面から支援。

資金使途 : 全額給水施設支援に充当。

その他 : 募集総額に当財団が一定額を上乗せ加算し、給水施設支援に充当。

- ⑥ 重点取組 : カンボジア、ミャンマーそれぞれの大使館で贈呈式を行い、駐日大使へ活動内容を報告。

II 諸外国との友好親善の促進に資する事業（公2）

1. ティーンエイジ アンバサダー

- ① 標 題：日本 ベトナム ティーンエイジアンバサダー
- ② 活動概要：日本とベトナムの高校生が相手国を相互訪問し、表敬活動、交流活動、文化・歴史理解活動を通じて、価値観の多様性を認識すると共に、国際的な相互理解、親交を深める。又、海外の訪問先での日本人組織との交流を通じて相手国の文化や価値観をより多面的に理解し、双方の友好親善の促進につなげる。
なお、日本側の交流参加高校は、公募申込のあった高校の中から、外部委員による選考委員会にて決定。
- ③ 実施期間：日本招聘：2023年11月13日（月）～11月18日（土）
ベトナム派遣：2024年1月15日（月）～1月20日（土）
- ④ 参加対象：日本高校生：5校50名
ベトナム高校生：5校50名
- ⑤ 重点取組：【日本】
 - 1）外務省表敬訪問
 - 2）在日ベトナム大使館にて質問会および歓迎会の開催
 - 3）ドキュメント映像作品を制作予定【ベトナム】
 - 1）ベトナム外務省への表敬訪問予定
 - 2）在ベトナム日本国大使館にて質問会および歓迎会の開催
 - 3）ドキュメント映像作品を制作予定

2. アジア ユースリーダーズ

- ① 標 題：アジア ユースリーダーズ
- ② 活動概要：日本を含むアジア8カ国の高校生が日本に集まり、各国に共通する環境・経済・社会の問題について英語でディスカッション・発表を行う。価値観の多様性の理解、同世代の人的ネットワーク構築、問題解決に向けた論理展開力の錬成により、次代を担うグローバルリーダーに必要な資質を身につけることを目指す。
- ③ 実施期間：2023年8月21日（月）～8月25日（金）
- ④ 参加対象：インドネシア、カンボジア、タイ、中国、日本、ベトナム、ラオス、マレーシア
- ⑤ 重点取組：新規3か年計画の第3弾（*3年目）。本年度は、テーマ「食べ物から考えよう、環境のこと」を生産・流通の観点から考察し、環境負荷の少ない商品開発の提案を行う。事前課題、事前勉強会などの学習プログラムを充実させ、議論・発表のレベルアップに努める。

3. イオン スカラシップ（奨学金）

(1) 日本での奨学金

- ① 標 題：イオン スカラシップ（国内）
- ② 活動概要：日本で学ぶアジア各国からの留学生への奨学金支給
授与式と集合研修を実施し、各自の夢の実現に向け奨学生同士のネットワーク形成と、価値観の多様性を理解し受容する素地を醸成する。

2023年度事業計画書

【支援内容】2年目となる継続生30名の他、1大学2名もしくは3名、計33～37名の新規生を加えた留学生を支援。1名につき、授業料の全額、及び生活費補助10万円（月額）を支給する。給付期間は原則として2年間。

③ 実施期間：新規生選考5月

【選考方法】各大学から推薦された候補学生の中から、外部選考委員による委員会にて決定。但し、国際大学は「渡日前選考方式」により奨学生を決定。

【認定証授与式及び第1回スカラシップセミナー】

2023年7月15日（土）

*イオン スカラシップセミナーは年間2～3回実施（不定期）

④ 対象大学：北海道大学、東北大学、千葉大学、東京大学、東京工業大学、早稲田大学、上智大学、慶應義塾大学、国際大学、名古屋大学、京都大学、神戸大学、流通科学大学、九州大学、計14大学

⑤ 重点取組：中国・アセアンにおける提携大学での受給生、もしくは在学生の日本留学ニーズについて掘り起こし、新たな支援につなげる
並行して、国際大学と同様に、「渡日前選考方式」の実施が可能な大学の掘り起こしと検討を行う。

(2) 中国での奨学金

① 標 題：イオン スカラシップ（中国）

② 活動概要：中国国内で学ぶ大学生への奨学金の支給。

11月～12月の間に各大学で奨学金授与式を実施。奨学金の一環として、5月に当財団の冠名で、北京大学、清華大学、北京第二外国語学院、青島大学、中国海洋大学、武漢大学、深圳大学で日本語スピーチコンテストを開催する。上位入賞者は7月に日本研修を実施。また、7月に南開大学の日本への短期留学プログラムの協賛、11月に北京第二外国語学院の全国通訳大会の協賛、在中国日本大使館が主催する、北京で暮らす日本人留学生と同世代の北京市大学生が「20歳」になることを祝い、交流する「日中友好成人式」も協賛。

③ 実施期間：2023年 4月～ 5月 スピーチコンテスト

2023年 7月 訪日研修

2023年 9月～10月 奨学生選考

2023年11月～12月 認定証授与式

④ 対象大学：北京大学、清華大学、北京第二外国語学院、南開大学、青島大学、中国海洋大学、武漢大学、深圳大学、中山大学 計9大学

⑤ 重点取組：本奨学金事業の一環として各大学で開催しているスピーチコンテストの上位入賞者の中で、日本で学びたいが経済的な理由で学ぶことができない（中国人）学生について支援を行う。
渡日前選考の方策について、並行して検討する。

(3) アセアンでの奨学金

① 標 題：イオン スカラシップ（アセアン）

② 活動概要：アセアン各国内で学ぶ大学生への奨学金の支給。各国12月を目途に授与

2023年度事業計画書

式を実施。当財団の事業が奨学生の住む地域で実施された場合に参加を要請し、友好親善を促進する。

- ③ 実施期間：2023年 9月～10月 奨学生選考
2023年11月～12月 認定証授与式
- ④ 対象大学：タイ : チュラロンコーン大学、タマサート大学
ベトナム : ホーチミン人文社会科大学、ホーチミン教育大学、
ホーチミン経済大学、ハノイ人文社会科大学、
ハノイ貿易大学、ベトナム国家農業大学
インドネシア : インドネシア大学、ボゴール農科大学
カンボジア : 王立プノンペン大学、国立経営大学
ミャンマー : ヤンゴン経済大学、ヤンゴン外国語大学
- ⑤ 重点取組：各国の経済・物価状況に合わせ、大学間の支給額格差是正や大学ごとの支援人数、対象学年などに関する見直しを行う。
渡日前選考の方策について、並行して検討する。

Ⅲ 地域社会の持続的発展に資する事業（公3）

1. 災害復興支援

(1) 緊急災害復興支援

- ① 標 題：緊急災害復興支援
- ② 活動概要：国内外で発生した大規模自然災害に対する復興支援。復興支援金の贈呈式を実施。

(2) 首里城復興支援

- ① 標 題：首里城復興支援
- ② 活動概要：2019年10月31日未明に発生した大規模な火災により、甚大な被害を受けた世界遺産の首里城（沖縄県那覇市）の再建を支援。復興支援金の贈呈式を、毎年10月中を目途に実施。
（*2022年：1億円、2023年：1億円、2024年：9千万円をそれぞれ贈呈の予定。）

2. ふるさと未来支援

(1) 地域文化・工芸技術の普及啓蒙・継承支援

- ① 標 題：地域文化・伝統工芸技術の普及啓蒙・継承支援
- ② 活動概要：日本各地の地域固有の伝統行事・文化・工芸技術の普及啓蒙・継承支援。特に後継者育成に向け、青少年向けの広報・実技披露活動等を支援。支援案件は公募に申込みがあった案件の中から、外部委員による選考委員会にて決定。
（支援条件）
1）当該地域固有の伝統文化・工芸技術であること。
2）特定企業の従業員の参加を補助するものでないこと
- ③ 実施期間：2023年4月1日(土)から2024年3月31日(日)までの行事、文化継承事業
- ④ 参加対象：日本国内の行事・文化継承事業運営者、ならびにその団体
- ⑤ 重点取組：寄付企業との関係をより深め、各地域の伝統行事や衣食住に関わる文化・

2023年度事業計画書

風習等の振興や継承支援を強化する。

(2) イオン すくすくラボ

- ① 標 題：イオンすくすくラボ
- ③ 活動概要：各地域の子育て世代の親子を対象に、育児に関するセミナーの開催や個別相談会とネットワークづくり
- ③ 実施期間：2023年4月1日(土)から2024年3月31日(日) の中で実施
- ④ 参加対象：開催地域内の未就園児（0～3歳児）とその家族
- ⑤ 重点取組：子育ての悩み相談と子育て世代のサークルづくり

(3) イオン ふるさと発見伝

- ① 標 題：イオンふるさと発見伝
- ② 活動概要：中学生に向け、神社や名所旧跡などを舞台に女優 浅野温子氏による地域民話の読み語りを実施。行政・教育委員会と連携し、参加中学校の授業の一環として開催。2012年に東北の復興支援事業として開始、2015年より開催地域を全国各地に拡大する。
- ③ 実施期間：2023年度は9月～10月に1回実施予定。（*開催場所は検討中）
- ④ 参加対象：開催地域の中学生（*状況により小学生・高校生・地域住民を含める場合あり）
- ⑤ 重点取組：幅広い地域行政との連携を確立する。（*県、市区町村）

3. 公益団体への支援

(1) 青少年育成活動団体への支援

- ① 標 題：札幌PMFの支援
- ② 活動概要：公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会へメインスポンサーとして協賛。
- ③ 実施期間：2023年7月15日（土）～8月1日（火）（予定）
- ④ 支援対象：公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会

- ① 標 題：セイジ・オザワ松本フェスティバルへの支援
- ② 活動概要：セイジ・オザワ 松本フェスティバルを支援。当財団はプラチナ会員。
- ③ 実施期間：2023年8月12日（土）～9月8日（金）（予定）
- ④ 支援対象：公益財団法人 サイトウ・キネン財団

その他事業（法人会計）

1. 広報活動

(1) 概要書及びDVD

- ① 標 題：概要書制作
- ② 活動概要：イオン1%クラブの創設趣旨や事業目的に重点を置き、象徴的な写真を見開きで見せることで、事業内容をわかりやすく伝えるもの。英語版・中国語版・ベトナム語も制作。デジタル化することで配布先・設置先の拡大を図る。
当財団の活動に、より深い賛同と協力を得ることを目的に、四半期報告書の発行。
- ③ 実施期間：2023年4月1日(土)～2024年3月31日(日)

2023年度事業計画書

- ④ 配布対象：事業参加者、学校関係、各国大使館、各省庁、NPO・NGO、取引先、寄付企業、マスコミ他
- ⑤ 重点取組：昨年度のトピックを盛り込みつつも、当財団の創設趣旨や事業目的が正しく伝わるよう参加者のコメントページを追加する。
四半期報告書を作成し、当財団と連携する各社の取り組みを掲載する。

(2) ホームページ

- ① 標 題：ホームページ更新
- ② 活動概要：タイムリーな更新を図り、更新頻度を高めることで、ページ訪問者の滞在時間を延ばし、各事業の報告ページのPV（ページビュー）数を高める
- ③ 実施期間：2023年4月1日(土)～2024年3月31日(日)
- ④ 参加対象：ネット閲覧可能者
- ⑤ 重点取組：タイムリーなホームページ、フェイスブック上での情報開示を継続し、ホームページとSNSの連携を通じた広報活動を強化。新たにTwitterを開設する。

(3) 外部イベント参加費

- ① 標 題：イベント出展を通じたPR活動
- ② 活動概要：各国のフェスティバル、NGOや社会貢献活動団体等を対象としたイベント等に出展し、当財団の活動PRを行う
- ③ 実施期間：2023年4月1日(土)～2024年3月31日(日)
- ④ 参加対象：イベント参加者、各国大使館、各省庁、NPO・NGO等
- ⑤ 重点取組：大使館や各省庁が主催するイベントへ参加することで連携強化を図る。

2. 寄附及び協賛

(1) アジアの祭典

3. 団体会費

- (1) ジャパンプラットフォーム会費
- (2) 公益財団法人花と緑の農芸財団 会費
- (3) 公益財団法人公益法人協会 会費

以 上